

なかやしき慎一チャレンジ報告

チャレンジ通信

発行者 無所属刷新の会 鴻巣支部
県議会議員 中屋敷慎一
〒365-0039
鴻巣市東3-11-18-103号
TEL 048-541-8110
FAX 048-541-0256

討議資料

なかやしき慎一

新政権が始動し2カ月が経過した。100日のハネムーン期間は、おおらかなまなざしで期待を込めて見守るべきなのだろうが、景気の悪化は留まるどころを知らない。我が国の経済は、怪我人でいえば、最早「重症」という領域に達してしまつたのではないだろうか？効果の是非は別として、麻生前首相の「まずは景気対策」という言葉が懐かしくも感じる。新政権には、今進めている事業仕訳など、財政再建にしっかりと取り組み、実効ある来年度予算の策定を進めてもらわねばならない。「頑張れ、新政権！」

9月定例議会 主な内容

9月24日開会、10月15日閉会の今定例会では、総額380億5,392万円の一一般会計補正予算案など26議案が可決成立しました。また、平成20年度の決算関係議案は、現在（閉会中）決算特別委員会審査中で、私も委員として参加しています。



10月9日 八ッ場ダム建設推進議連現地視察

一般質問

わが党派からは、舟橋一浩議員が質問に立ちました。

舟橋一浩議員質問項目

- 1 政権交代について
～官僚依存から政治主導への転換～
- 2 動物愛護の推進について
～県としての支援策について～

1 上田知事答弁要旨

22年度予算を政治主導で作ろうとする仕組みなど、困難だけれども、国民の意見をよく聞き、丁寧に進めてほしい。先般、意見交換した新政権の閣僚たちも、政治家としてのリーダーシップ発揮に強い意識を持っていて。また、一方で単に、官僚を遠ざけるだけでなく、専門家集団である彼らの能力を使いこなす姿勢も極めて大切だと思う。

2 徐保健医療部長答弁要旨

県では、本所と南支所の二か所に動物指導センターを集約し、小学生など2,255名への動物愛護啓発事業を行った。犬、猫の譲渡事業でも平成20年度は552匹の実績を上げた。また、動物の虐待、放置、多頭飼育などの事例を防止するための早期発見対応に向けて、今月から動物愛護推進員の増員公募を開始した。

ハッ場ダム建設

9月定例会では、一般質問者15人のうち12人がハッ場ダム建設についての質問を行いました。また、「ハッ場ダムの建設推進を求める意見書」を可決し、国に対し、建設の推進について強く要望しました。

埼玉県では、ハッ場ダムは利根川の洪水から県民の生命・財産を守るとともに、水道水を安定的に供給するための水源の確保に必要なダムであると考へ、事業に参画しています。

ハッ場ダムの建設促進を 求める意見書（要旨）

ハッ場ダムは、本県にとって、71万県民の生命・財産を守る観点から必要不可欠なダムである。

本県は、現在、ダムの完成を前提とした暫定水利権で、約160万人相当の水道水を確保している。仮に、暫定水利権での取水が制限された場合、地下水採取により相当規模の地盤沈下が発生するおそれがある。

また、利根川上流吾妻川流域唯一の治水も目的とするダムであり、その治水効果は大きい。

昭和22年9月のカスリーン台風による利根川の決壊等で、群馬県、本県東部及び東京都東部など、併せて30万3160戸が水没、冠水する大惨事となった。当時と比較し、流域の人口が急増しており、水害防止の観点からも必要性大である。

さらに、各地の住民訴訟でも都県側が全面勝訴しており、司法でもその必要性が認められている。

ハッ場ダムの建設は、国策として57年にわたり、関係住民及び地方自治体の負担の上に進められてきた事業であり、国の責任において完遂されるべきものである。国は、関係地方自治体との十分な協議の上、ハッ場ダムの建設を推進するよう、強く要望する。

この問題について一番強く感じるのは、「国との契約とは一体何なのか？」ということである。「政権が変わったから仕方ない。」もし、自分の身に降りかかったことなら絶対に口にできない言葉だと思ふ。人口六千四百人の町が集めた五万人の署名を、政府はどう受け取るのだろうか？

なかやしきの思い！

この問題について一番強く感じるのは、「国との契約とは一体何なのか？」ということである。「政権が変わったから仕方ない。」もし、自分の身に降りかかったことなら絶対に口にできない言葉だと思ふ。人口六千四百人の町が集めた五万人の署名を、政府はどう受け取るのだろうか？

ハッ場ダム

利根川の支流の一つである吾妻川流域に初めて造られる、治水・利水・発電を目的に国が建設を進めてきた多目的ダム。本県のほか、群馬県、東京都、千葉県、茨城県、栃木県が建設事業に参画している。

10月9日ハッ場ダム建設事業の推進を求める議員連盟が現地視察しました

視察報告レポート

8月26日 無所属刷新の会 視察報告

次世代エネルギー関連視察に、東京ガスの各施設を訪ねました。南千住にある東京ガス千住テクノステーションを訪ねた。ここでは、低炭素社会の実現を目指して、「環境性」と「セキュリティ」を軸に、天然ガスのポテンシャルを再評価し、ガス事業の中長期的な様々な課題を検討している。太陽光発電の次に来

注目の地球

るものとして注目されている「エネファーム」とは、都市ガス、LPガス、石油などのエネルギーから水素を取り出し、セルスタックの中で空気中の酸素と化学反応させ、水の電気分解の逆の原理で発電する仕組みの燃料電池システムで、その際に発生するのは、電気と熱と水という今までにない1次エネルギーの使い方をするものだ。研究所の中では、経年変化や耐久のテスト、そして、軽量化やコストダウンに向けた様々な研究がされていた。敷地内にあるエネファームのモデルハウスである、暮・楽・創ハウスでも一軒の家の中での様々な可能性も見せてもらった。

しかし、エネファーム自体まだまだ高価であるのは事実で、今後さらにコストダウンが図られ、太陽光発電などの組み合わせが進めば消費者の選択肢が大きく広がることになるだろう。

研究所の道を挟んだ先で、経済産業省による「水素・燃料電池実証プロジェクト（JHFC）」で設置された、燃料電池自動車に水素を供給するステーションの視察と燃料電池自動車の試乗もさせてもらった。燃料電池自動車の普及には、水素ステーションの増加が何よりも重要だ。これは無くして、燃料電池自動車の普及はあり得ない。また、試乗させてもらった自動車は非常に素晴らしい加速を示しながらも、あくまで静かで快適だった。でも、一台の価格が一億円というには大分驚かされた。

無所属刷新の会は、平成22年度予算編成で知事に県政要望書を提出しました。



地元問題を含め154項目の要望をいたしました。11月11日

- 行財政改革
- 総務関係
- 警察・防犯関係
- 産業労働関係
- 農業関係
- 環境関係
- 都市整備関係
- 県土整備関係
- 教育関係
- 福祉・保健・医療関係
- NPO活動関係

地元問題（鴻巣市）

- 鴻巣駅東口C・E地区市街地再開発事業の進捗に伴う、一般県道鴻巣・桶川・さいたま線（鴻巣停車場線-都市計画道路三谷大間線）の拡幅整備の推進
- 主要地方道鴻巣・羽生線の歩道整備事業の推進と国道17号宮地交差点の右折帯の整備推進
- 主要地方道鴻巣・川島線、一般県道鎌塚・鴻巣線分岐 追分交差点改良事業の推進
- 主要地方道行田・蓮田線の特定交通安全施設等整備事業の更なる推進
- 主要地方道さいたま・鴻巣線の児童・生徒の交通安全確保に向けた歩道整備の早期完成
- 都市公園（上谷総合公園）の緑地空間と元荒川の親水性との調和を図る元荒川親水事業の推進
- 主要地方道鴻巣・川島線（国道17号三ツ木交差点-三ツ木神社付近）の児童・生徒の交通安全確保に向けた道路拡幅及び歩道整備の推進
- 武蔵水路の改築事業に伴う県道整備の推進
 - 一般県道上中森・鴻巣線における歩道整備の推進
 - 一般県道鎌塚・鴻巣線 中宿橋の交通安全確保に向けた拡幅及び歩道整備の推進

決算特別委員会 視察報告

10月19日（月）

埼玉県立熊谷循環器呼吸器病センター

当センターは、本県の目指す専門性の高い県立病院の設置という基準の中で、呼吸器・循環器系疾患に関する中枢機関としての役割を果たす専門病院である。全国にある類似県立病院の中で医業収支比率は83.6%で第3位の位置にある。しかし、事業収益と事業費用を比べると、6億3千万円余りの損失を生じており、さらなる経営の健全化が望まれる。すぐれた高度医療の提供と病院の事業としての健全化、この二つの課題を同時に克服し、なおかつ十分な医師・看護師の確保をしていかなければならない。病院事業の健全な進捗、高齢化を控えて極めて難題である。



10月28日（水）彩の国資源循環工場

本県の抱える大きな課題の一つに、廃棄物の適正処理やリサイクルなど資源の循環を確立することがあげられる。寄居町にある当施設は、公共関与による全国初の総合的資源循環型モデル施設である。民間リサイクル施設、PFIサーマルリサイクル施設、産学官の共同で実証研究を行う研究施設で構成され、環境産業群の相互連携による効率的で効果的な資源再生と技術開発に取り組んでいる。また、今年度から、隣接地に6ha以内の県営最終処分場を併設した第二期事業が進められている。視察した最終処分場では、環境に影響の無いように最大限の工夫が施されていたが、大地震など予想を超えた災害の時にははたして？



9月活動報告

- 1日 野々宮神社例大祭
- 5日 鴻巣市P連・融和とふれあいソフトボール大会
- 吹上堤下運動場
- 5日 氷川神社秋季例大祭 滝馬室氷川神社
- 5日 お囃子連施設新装祝い 滝馬室氷川神社
- 6日 鴻巣びっくりひな祭り実行委員会
- 13日 市民硬式テニス大会（ダブルス） 上谷テニスコート
- 13日 鴻巣市武道大会 鴻巣市立総合体育館
- 13日 田間宮地域敬老会 ふれあいセンター
- 14日 吹上鎌塚八幡神社 巫女の舞
- 18日 大野神社例大祭
- 24日 9月定例議会 開会、知事提出議案の報告、上程
- 24日 議員政策研修会「分権時代の地方議会のあり方について」
- 25日 議案勉強会 県議会議事堂
- 26日 雷電町敬老会 雷電会館
- 26日 天皇陛下御即位二十年をお祝いする埼玉県民の集い 埼玉会館
- 30日 防犯の町づくり推進議員連盟総会 県議会議事堂



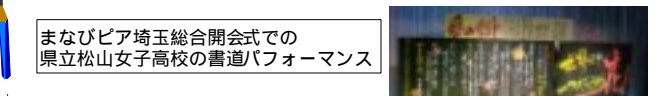
9/5お囃子連施設新装祝い 9/14吹上鎌塚八幡神社巫女の舞

- 15日 9月定例会 委員長報告、質疑、討論、採決、閉会
- 16日 平成21年度地域安全・暴力排除推進総決起大会
- 17日~18日 おおとり祭り
- 17日 交通安全功労・優良運転者表彰式 クレアこうのす大ホール
- 17日 鴻巣びっくりひな祭り実行委員会 鴻巣市役所
- 18日 鴻巣神社例大祭
- 19日 決算特別委員会視察 視察レポート掲載
- 20日 鴻巣花き餅 秋季品評会 フラワーセンター
- 21日 県職員鴻巣会懇親会 ゆき寿司
- 22日 鴻巣市民ゴルフ大会 鴻巣カントリークラブ
- 24日 コスモスフェスティバル コスモスアリーナふきあげ周辺
- 25日 木とのふれあいまつり 東京木材相互市場吹上市場



模擬上棟式

- 26日 決算特別委員会 県議会議事堂
- 26日 民主党埼玉県連「2009政経文化の集い」 浦和ロイヤルバインズ
- 28日 決算特別委員会視察 視察レポート掲載
- 29日 決算特別委員会 県議会議事堂
- 30日 まなびピア埼玉2009総開会式 さいたまスーパーアリーナ
- 31日 鴻巣西中学校 創立30周年記念式典 鴻巣西中学校体育館



まなびピア埼玉総開会式での県立松山女子高校の書道パフォーマンス

11月活動報告

- 1日 鴻巣市消防団特別点検 糠田グランド
- 1日 かわさとフェスティバル
- 1日 消防団第4分団特別点検慰労会 磯幸寿司
- 1日~3日 市民文化祭作品展 鴻巣市立総合体育館
- 2日 決算特別委員会 県議会議事堂
- 3日 東日本実業団駅伝

- 4日 関東1都6県議会議員親善ゴルフ対抗競技大会 霞ヶ関
- 4日 県職員OB弘済会鴻巣班懇親会 ゆき寿司
- 5日 鴻巣びっくりひな祭り事前会議 中屋敷事務所
- 6日 市民文化祭懇親会 クレアこうのす大会議室
- 8日 鴻巣市産業祭 鴻巣市立総合体育館
- 7日 埼玉県北部都市対抗テニス大会 彩の国くまがやドーム
- 8日 鴻巣菊花展表彰式 鴻巣市立総合体育館
- 9日 決算特別委員会 県議会議事堂
- 10日 決算特別委員会 県議会議事堂
- 11日 埼玉県戦没者追悼式 埼玉会館大ホール
- 11日 無所属刷新の会 会派予算要望書提出 知事室
- 12日 決算特別委員会 県議会議事堂
- 13日 鴻巣市防火安全協会創立40周年記念式典 クレアこうのす
- 14日 鴻巣市民体育祭実行委員会 鴻巣市立総合体育館
- 15日 田間宮第2回防災訓練 糠田運動場
- 15日 鴻巣市レクリエーション協会創立20周年記念式典・祝賀会 クレアこうのす
- 17日 全国農業担い手サミットin埼玉 大宮ソニックシティ大ホール
- 18日 埼玉師範塾 教育フォーラム
- テーマ：地域に根ざした教育再生 埼玉会館小ホール
- 19日~20日 企画財政委員会視察
- 視察先：横浜市役所・(財)横浜市緑の協会 神奈川県庁 他
- 21日 箕田公民館・児童センターまつり「オータム・フェア」
- 21日 シンポジウム「沖縄政策提言」 星陵会館
- 22日 教育を考える彩の国県民フォーラムin白岡 白岡町コミュニティセンター

- 23日 鴻巣びっくりひな祭り実行委員会
- 24日 決算特別委員会 県議会議事堂
- 25日 「こうのとりの伝説米」栽培・流通振興意見交換会
- 26日 予科練（土浦・霞ヶ浦航空隊）記念館視察
- 27日 埼玉県議会議員 舟橋一浩県政報告会
- 28日 鴻巣市青少年健全育成市民のつどい クレアこうのす
- 28日 鴻巣市水泳連盟理事会 鴻巣市立総合体育館
- 28日 埼玉県議会議員なかやしき慎一県政報告会 クレアこうのす
- 29日 鴻巣市スポーツ少年団野球部総会 クレアこうのす

*活動報告は、抜粋させていただきます

埼玉県議会
無所属刷新の会
鴻巣支部
中屋敷慎一事務所
〒365-0039
鴻巣市東3-11-18-103
TEL 048-541-8110
FAX 048-541-0256
<http://nakayashiki.net>
challenge@nakayashiki.net
県議会へのご意見、ご要望承っております。

編集後記

11月も後半に入り、朝晩の冷え込みは初冬を思わせるようになってきましたね。9月定例会後間もなく決算特別委員会の審査が始まりました。また、新たに決算を通じた皆さんの強い要望を、多くの気付きもいただいた。皆さんから徴収させていただきます。より有意義に執行できるように、今回得た視点を、二月の予算特別委員会に生かしたいと思います。 慎一

